

● まちづくり勉強会（第9回）を開催しました

今回のまちづくり勉強会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しつつ、より多くの皆様にご参加いただけるように、開催期間中はいつでも入退場自由なパネル展示形式で開催しました。

まちづくり勉強会では、本紙でご案内した今後のまちづくりの進め方や、将来イメージの実現に向けたまちづくりの方法の例などを説明するスライドを上映しました。

■ 開催日時

令和3年3月 17日（水） 午後2時～午後7時 30分
 18日（木） 午後2時～午後7時 30分
 20日（土） 午後1時～午後4時 30分

■ 開催場所

すみだ女性センター
 第2・3会議室

■ 参加人数

17日（水） 12名
 18日（木） 19名
 20日（土） 26名
 3日間延べ 57名

■ 主な質問

- ・どのようなまちにするのか、区は既に決めているのですか。
 ⇒決めていません。これから地域の皆様と一緒に、どのようなまちにしたいかを検討していきます。
- ・まちづくりに詳しくなくても「まちづくり検討会」には参加できますか。
 ⇒特に専門的な知識は必要ありません。まちづくり勉強会の対象範囲にお住まいの方、土地又は建物の権利をお持ちの方は検討会メンバーに応募できます。



● まちづくり検討会準備会を開催します

「まちづくり検討会」に先立ち、これまでの検討のおさらいやまちづくりの方法の基本等について説明する「まちづくり検討会準備会」を5月、7月に開催する予定です。

「まちづくり検討会準備会」は、これまでのまちづくり勉強会と同様に自由参加です。是非ご参加ください。



■ まちづくり検討会準備会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催時期が変更となる場合があります。

令和3年5月開催予定
 令和3年7月開催予定

これまでの検討のおさらい、今後のまちづくりの進め方
 まちの変化に対応するルールの必要性

● お問い合わせ

墨田区都市整備部立体化推進担当 拠点整備課
 Tel : 03-5608-6262 Fax : 03-5608-6409



押上・とうきょうスカイツリー駅周辺

まちづくりニュース 第10号

2021年3月

● まちの将来イメージの実現に向けた「まちづくりルール」を検討していきます

押上・とうきょうスカイツリー駅周辺のまちでは、様々な動きが見られます。最近では、隅田公園のリニューアルや東京ミズマチ®の開業等が行われました。数年後には、東武伊勢崎線が高架化され、駅周辺ではにぎわい施設の増加など、環境の変化が見られるようになります。

このまちの動きに適切に対応するため、「どんなまちを目指していきたいのか」「大切にしたいまちの姿や生活とは何か」「これからのまちに期待したいことは何か」など、まちの将来イメージの実現に向けたまちづくりの目標や方針等を定める「まちづくりルール」を検討していきます。

「まちづくりルール」の具体的な内容については、「まちづくり検討会」を立ち上げて検討していきます。検討の進め方などの詳細については、2ページをご覧ください。



これまでの検討を踏まえた「まちの将来イメージ」

建物規模

小規模建物から高層建物までがバランスよくあるまち



用途・施設

現在ある施設は活かしながら、住民の生活がより豊かになる施設のあるまち



街並み

安全な歩行者空間があり、防災性・防犯性が高い魅力的な街並み



公園・広場等

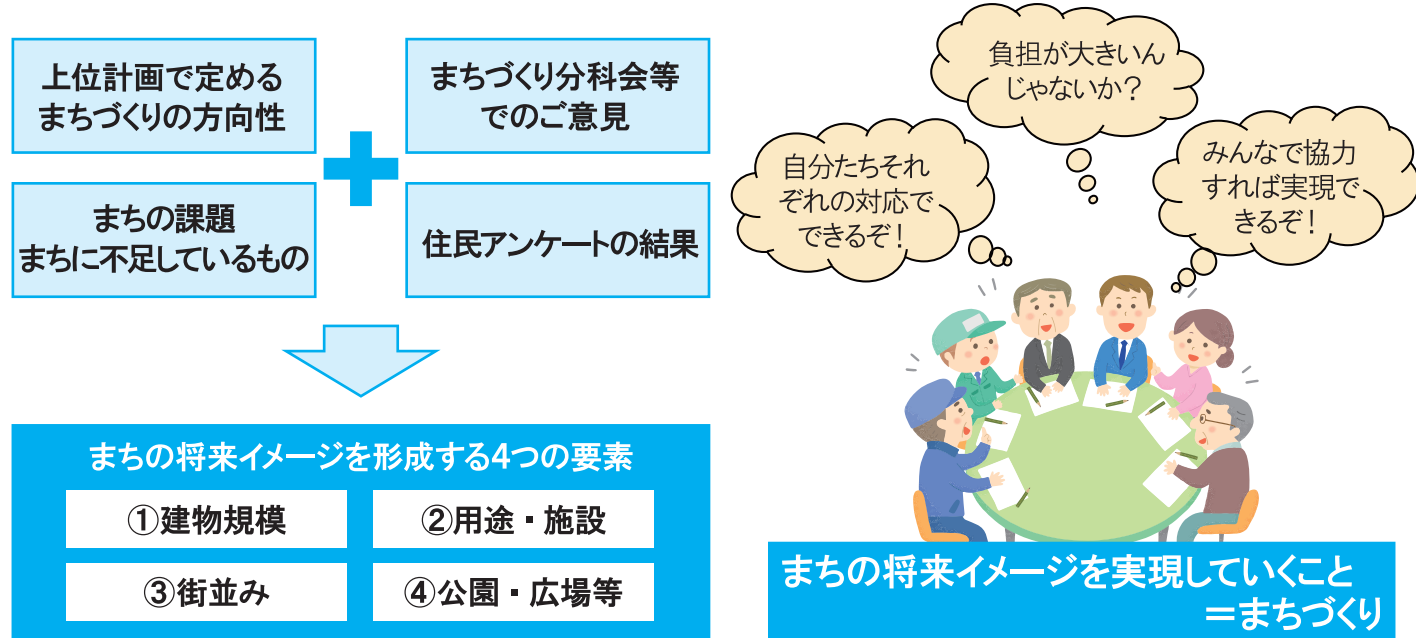
防災活動の場や憩いの場、遊びの場として活用できるオープンスペースがあるまち



● 地域が望むまちを実現するために皆様で検討しましょう

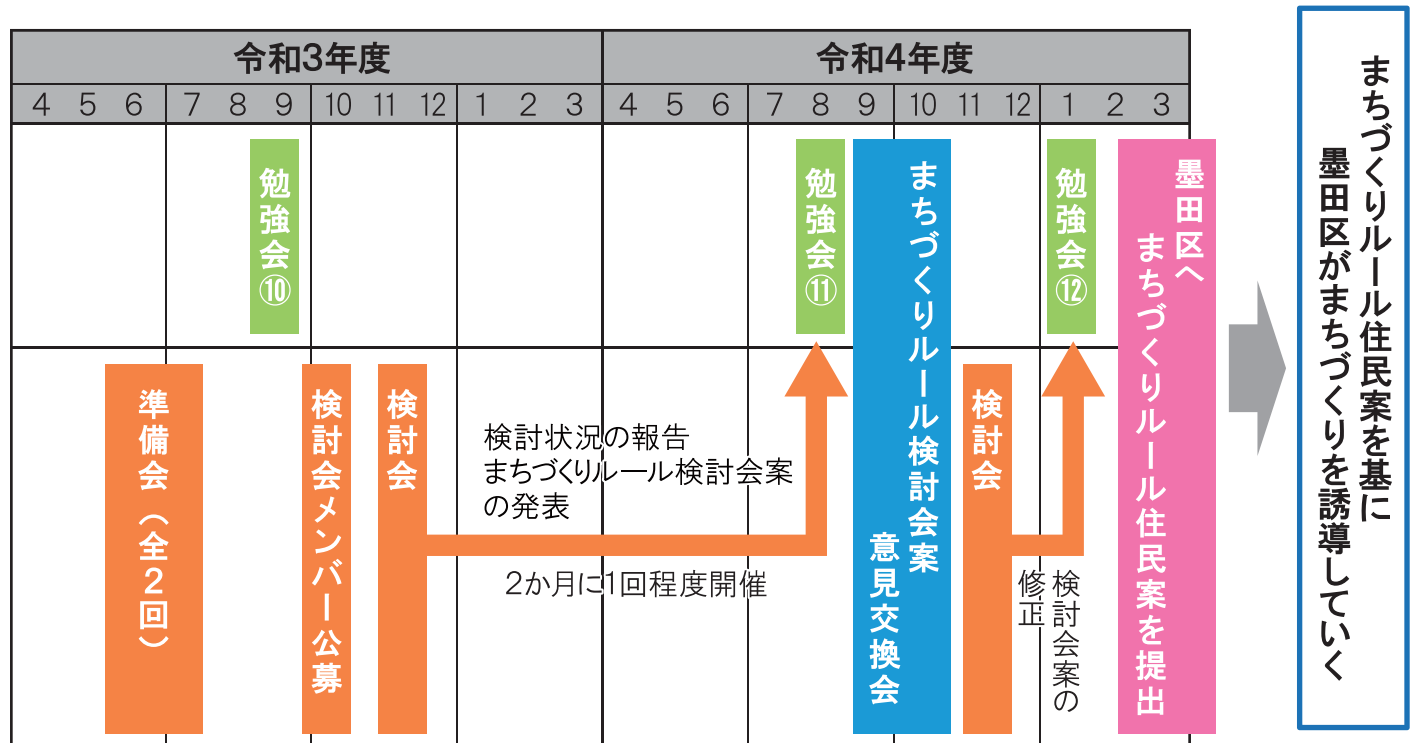
まちの課題やまちづくり分科会等でのご意見、住民アンケートの結果等を踏まえた『まちの将来イメージ』の実現方法は様々あります。

皆様が望むまちを実現するための具体的な「まちづくりルール」を検討していきましょう。



● 「まちづくりルール」の検討の進め方

「まちづくりルール」の検討は、固定メンバーによる「まちづくり検討会」で内容を深め、「まちづくりルール検討会案」を作成します。この「まちづくりルール検討会案」について、地域の皆様のご意見を意見交換会等でお聞きし、令和4年度末までに「まちづくりルール住民案」としてまとめ、区に提出していただきます。



※「まちづくり検討会」のメンバーは、まちづくり勉強会対象範囲にお住まいの方、土地又は建物の権利をお持ちの方から公募する予定です。詳細については、今後ご案内させていただきます。

● まちの変化を契機に考えてみましょう

下の図は、皆様が住んでいる地域のまちの動向です。最近では、隅田公園のリニューアルや東京ミズマチの開業等によって新たにぎわいが生まれました。数年後には、東武伊勢崎線の高架化によって、踏切が除却されるだけでなく、鉄道の南北が行き来しやすくなるなど、まちの周辺環境に変化が見られるようになります。

このまちの変化は、「まちづくりルール」などで適切に対応することによって「まちの将来イメージ」を実現できる良い機会になります。

■ 押上・とうきょうスカイツリー駅周辺動向図



● 地域とともにまとめたまちづくり事例（亀戸六丁目地区）

江東区亀戸六丁目地区は、サンストリート亀戸跡地開発を契機としたまちづくりを誘導し、地域課題を解決するため、地元町会や商店会等を構成員とした『亀戸六丁目まちづくり連絡会』を立ち上げました。

連絡会では、地域の課題整理やまちの将来像などの検討を行い、まちづくりの将来像を共有するものとして、『亀戸六丁目まちづくり方針』をとりまとめました。開発事業者等は、この方針をもとに亀戸六丁目のまちづくりを進めています。

